

環境問題について

肥料の三要素は窒素、リン、カリです。その中のリンはこれまで南米（チリ・コロンビア）などで採取されていましたが、その資源が枯渇したそうです。

リンは人間が生きていくのに不可欠な元素で、肥料・工業原料・食糧・飼料に使われますが、日本ではリン鉱石は採れません。

霞ヶ浦の汚泥や下水処理場の汚泥にはその貴重なリンが豊富に含まれていて、その埋蔵量は30万トンにもなると予想されています。関係自治体が霞ヶ浦を浄化しようとする、大きな財源が必要となりますが、官民連携することで、霞ヶ浦の浄化速度が速くなると考えます。

このリンの回収事業を官民で連携すれば、霞ヶ浦の浄化に必要な財源が確保できるようになります。

高齢者とのふれあい

ユマニチュードとは、「**人間の尊厳を尊重する**」認知症ケアの一つの手法です。

言葉・身振りそして、目線などを用いた包括的なコミュニケーション方法を軸としています。

この手法を取り入れている自治体が増えており、その効果は大きいと言われています。石岡市においてもそのサービスの提供を求めています。



ペットについて

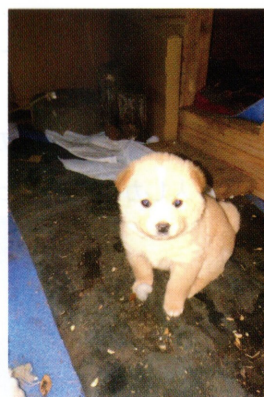
茨城県が動物の殺処分ゼロを目指しています。

石岡市においても、避妊や去勢の補助制度の充実を図り、ボランティア団体が行っている里親制度の手助けを積極的にやることが大切と考えます。

幸福ホルモン（オキシトシン）

オキシトシンは、愛情と感動の「幸せホルモン」と言われ、ペット（犬）を相手にし、幸せを感じるとき脳内に多く分泌されるということです。

人間は長い歴史の中で、とりわけ犬に対して特別な幸せ感をもつということです。



里親を募集中です

祝 甲子園初出場
ガンバレ!!石岡一高!!

皆様のご意見をお聞かせください

石岡市議会議員

桜井のぶゆき

石岡市小幡1047番地

電話：0299-42-3106

FAX：0299-42-3863

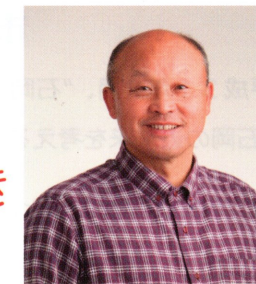
mail：3901nobuyuki@gmail.com

議会活動報告

信ちゃんNavi

石岡市議会議員
桜井のぶゆき

2019年3月2日作成



石岡市の課題について

『石岡の近未来を考える会』発足
議員活動

環境問題について
高齢者とのふれあい
ペットについて

●ゴミ処理の問題

●会について概要

●健康づくり

●福島県浪江町へ往訪

●水道事業の現状

●これからの農業

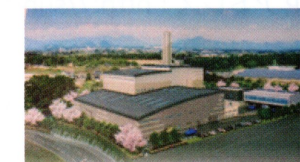
石岡市の課題

『ゴミ処理の問題』

新広域ごみ処理施設が270億円（設計、建設153億円、20年間の運営業務117億円）で落札され、現在その工事が行われており、2021年4月より運用が開始されます。その処理能力は、1日あたり約215tです。

昨年、COP24において、日本を含む全加盟国が協定に調印しました。この協定により、先進国が途上国に『資金と技術』を提供することとなり、その資金を捻出するためにCO2の排出量に応じた負担金を支払うことになると言われています。1tの有機ゴミを燃やす場合、2tのCO2を排出したと換算され、1tあたり3,200円の排出負担金が掛かるのではとの情報もあります。

仮に、新処理施設で1日215tのゴミが焼却されると、430tのCO2が排出されたとみなされ、**1日当たり 137.6万円**の排出負担金が課され、また年間では、**5億円強**の負担金となります。



《新広域ごみ処理施設完成予想図》

この問題に対し、私は、『炭化炉』の導入を提案したいと考えております。『炭化炉』でゴミを炭化すると、CO2を排出しなかったと換算され、その分のCO2排出枠を販売できます。新しいゴミ処理施設と『炭化炉』の併用を早急に検討されるべきと考えます。

今のままでは、将来的にゴミの有料化など“市民負担”は避けられないと考えます。今後、このゴミの有料化については、市民が本気でゴミの軽量化を図り、知恵を出し合い、少しでもその負担の軽減をしていく必要があります。

『水道事業の現状』

八郷の水道事業は昭和37年に供用が開始され57年が経過し、到るところで老朽化が見られます。水道管の延長距離は約400kmあり、老朽化した水道管は漏水も多く、現状その対策に苦慮しており、その改修には200億円～300億円の財源が必要とされております。

現在の水道事業において、その有収率（給水量とそれに対する収入の比率）は約75%で、**毎年約25%もの水が無駄になり、金額にすると年間約1億5000万円の税金が消えていることとなります。**

“安全で美味しく災害に強く、長寿命（100年以上）”な水道サービスの提供が求められます。

ゴミや水道の問題だけでも、市が抱える問題には大変な税金が使われています。少しでも有意義な“税金の使われ方”をするためには、私たち市民の一人一人が、自らの生活の問題として、“無駄を減らす”ためのチェック機能を高めていくことが必要と考えます。

市民グループ『石岡の近未来を考える会』の発足

平成31年2月、“石岡市が本当にこのままでいいのか”10年後、20年後の石岡市への想いから有志が集い『石岡の近未来を考える会』として活動が始まりました。

政党等の応援がないと、市議会議員になるには多額な資金が必要といわれています。そこで、サポーター会員が応援することで、お金のかからない選挙を実現できます。

『石岡の近未来を考える会』は、石岡市の改革を真剣に考える議員を一人でも多く増やし、市民の声が行政へ届けられるように、みんなのまちづくりを応援します。

《推薦の条件》

- ①議員報酬を見直す意志があること
- ②働きながら議員活動ができるように休日、夜間等に議会を開催する意思があること
- ③女性の立場と視点を大切に、それらを市政に反映するため、立候補を目指す女性の方
- ④議員としての資質、品格をもっていること
- ⑤石岡市に税金を滞納していないこと
- ⑥議員になったら情報公開に努め、サポーター会員との情報交換会に参加すること

下記 FAX に、お問い合わせ下さい。

FAX (0299-57-3334)

ホームページから入会手続きも可能です。詳しい情報が掲載されていますのでご覧下さい。

HP アドレス：<http://sunrisejp.net/ishiokanomirai/>



議員一人に対し支払われている報酬等は年間約620万円、多くの市民の平均年収が300万円を下回る中で、石岡市の台所事情を考え報酬を見直す必要があります。

議員としての資質と能力を備え、「政策提案力」を持ち、「市民の税金を正しく効率よく使い」「市民のために汗を流すこと」ができること。これが議員の使命ではないでしょうか。

私も『石岡の近未来を考える会』の公募に応募します。そして、市民の皆さんと共に切磋琢磨し、近未来の人たちへと共にバトンを繋げるよう頑張ります。チャンスは、それを生かす者のところへやってきます。

健康づくり

石岡市民のための「健康長寿」を目指して、ここ3年に亘って行ってきた『スロー筋トレ・筋肉調整』のさらなる充実。

スロー筋トレは貯筋です。効果を得るためには、継続することが大切です。



→筋トレの王様スクワット



→チューブを使ったスクワット



↑ハムストリングスを伸ばすことによって腰痛予防・改善



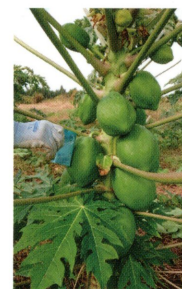
↑脊柱起立筋の強化（腰痛予防・改善）

これからの農業

安全・安心を心がけ、付加価値の高い作物を生産、安定した農業経営を実践する。一例を紹介します。



今年栽培を予定しているソルガム。車の燃料やオイルの原料のバイオエタノールが抽出できる『ソルガム』。絞り滓は家畜の飼料となり栄養価が高い。



パパイア生はサラダなどで。漬物（奈良漬）にパパイン酵素が糖、脂肪、タンパク質を分解する。

高齢化、人口減少を要因とし、耕作放棄地が増えています。新たな農業後継者に就農してもらうためには、魅力ある農業政策が求められます。



ジャバラ（柑橘類）果汁には、ナリルチンが豊富で「花粉症」を緩和する。



ヘアリーベッチ。マメ科の植物で空気中の窒素を吸収土に還元・雑草の成長を抑える物質を放出することで除草剤を使用しないで済む。



ポリフェノールが豊富なバナナの葉を利活用、米や地場産品を使い「ちまき」づくり。只今、バナナの苗づくり中です。

福島県浪江町往訪

平成31年2月21日、福島県浪江町へ行ってきました。（浪江町へは、震災復興支援を目的とし、毎月議員報酬の一部を寄付しております。）

間もなく震災から8年が経過しますが、未だに8割の区域が帰宅困難であり、18,000人いる町民の約900人しか自宅へ戻っていません。



本間副町長に JA やさとの納豆、パパイアの奈良漬、シークワサーの果汁を土産に、6次産業について話をしました。



第一原発から20キロ圏内の請戸地区。最大の被害地区で150名の方が亡くなられた。



帰還困難地区の民家



寄付金等を活用して開校した『なみえ創成小学校』是非見ていただきたいと案内されました。

「福島第一原発の事故で避難勧告を受けた9町村と3地区は完全復興までにはまだまだ多くの時間がかかる。」「低線量の放射能がいまだに放出されている。」ことなどを聞かされ気が重くなりました。今回の訪問は、民間企業の除染やバイオ発電、農業の6次産業の専門家を同行してもらい、雇用の場の確保を図り避難住民の帰還を促進するための提案をしてきました。